

学校だより

令和5年10月31日



11月号

NO. 409

横浜市立茅ヶ崎小学校

学校 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標

自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子

いってきます！

校長 高橋 美都子

10月後半になり、さわやかな気候が続くようになってきました。正門前やグリーンフィールドの木々も葉を落とし始め、毎朝、学校用務員さんがきれいに掃いてくれています。登校途中で拾った大きなクヌギやマテバシイを見せてくれる1年生も何人もいます。車通りのない通学路を、季節の移ろいを感じながら登校できる豊かさを感じる時期となりました。毎年10月の下旬に設定している読書週間では、今年も児童図書委員会の取り組みが行われています。本を読むとスタンプがもらえ、さいころをふり、出目のプレゼントがもらえるという取り組みです。このイベントを楽しみにしている児童も多く、図書室は満員御礼になる日もあります。ゆったりとした時間が楽しめる、まさに「読書の秋」を実感しています。

さて、学校では、それぞれの学年で遠足や宿泊体験学習が行われます。子どもたちも運動会と並んでとても楽しみにしている行事です。今年は、10月に行った5年生の西湖宿泊体験学習を皮切りに、1年生は東方公園遠足、2年生はズーラシア遠足、3年生はこどもの国遠足、4年生は愛川体験学習、6年生は日光修学旅行が計画されています。

5年生の宿泊体験学習では、活動の内容や意義を理解し、自分たちでテーマを決め、よりよい体験学習にしようという姿がみられました。子どもたちは自分の役割を果たし、仲間と協力して行動し、自然に親しみ、充実した活動を楽しむことができていました。

宿泊体験学習や遠足では、まずそのねらいを理解し、「こんな宿泊体験学習（遠足）にしたいなあ」という自分たちの目標を作ることから始めます。さらに行く場所を調べたり当日の活動についての話し合いをしたりする中で、子どもたちは活動を作る自主性や役割をやり遂げる責任感、また、人との関わり方を学び、実践的な態度を養います。それは普段の生活よりもさらに真剣に仲間のことを考えたり、本物に触れる体験をしたりすることができる機会だからだと思います。仲間体験や本物体験は、実感を伴った感動体験に結びつきます。そうやって生まれた感動体験は子どもたちの生きる力につながっていくのです。来月は遠足や修学旅行など校外へ出る行事が多くなります。十分に準備をして実り多いものにしていきたいと思っています。

秋も深まり、朝晩の気温差が大きくなり、体調を崩しやすい時期になります。これまで以上にご家庭での健康観察を行っていただき、体調がすぐれないときには無理せず体を休めてほしいと思います。今月もよろしくお願いいたします。